

体育的活動領域部会



東京都小学校体育研究会研究主題

自ら学び続ける力を、仲間と共に身に付けていく体育学習

～運動の楽しさや課題解決の喜びを味わうことを通して～



～いつでも どこでも だれとでも～

豊かなスポーツライフ
健康で安全な生活

【体育的活動】

- ・子供の自己選択・自己決定の連続
- ・運動遊びの自由度が高い
- ・心も体も満足することができる

体育科全領域

日常的な運動遊び

体育科全領域と日常的な運動遊びの架け橋

1 体育的活動領域における研究主題の捉え方

本部会では研究主題を実現していくために、体育的活動における運動遊びの特性（魅力）を以下のように整理した。「子供の自己選択・自己決定の連続」「運動遊びの自由度が高い」「心も体も満足することができる」この3つの魅力を大切に、活動のサイクルを回すことで自ら学び続ける力を身に付けていく。また、汎用的な資質能力を養っていく。そして、体育的活動の価値を追求していくことで、体育科と日常的な運動遊びとの架け橋としていく。

2 研究の重点

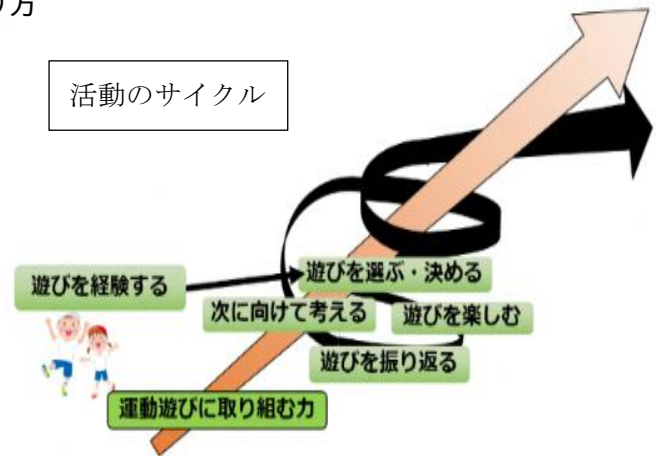
(1) 教師による自由度の高い活動環境のデザインの在り方

これまでの体育的活動の時間で経験した運動遊び、休み時間や放課後などで子供が遊んだことがあるもの、体育の授業で取り組んだことのある種目など実施する児童の実態に合わせて選択できるようにする。

(2) 活動のサイクルを回せていない子供への教師の関わり方

子供が自ら学び続ける力を身に付けていくためには、意欲的に活動に取り組み、右図の「活動のサイクル」を子供自身が回すことが大切である。

「活動のサイクル」が回せていないと感じる子供の様子を、今までの研究結果（児童アンケート、活動実践など）から検討した結果、公正・協力（きまりを守らず、仲良く取り組もうとしないなど）に課題が見られることが多いと考えた。そのため、教師による活動前の子供の実態把握や、楽しく遊ぶための雰囲気づくりについても検討していく。



(3) 体育的活動における楽しさを味わう振り返りの充実

子供は体育的活動で、思い切り体を動かすこと、協力して運動遊びを行うこと、試行錯誤しながら、新たな遊び方を生み出すことなど、様々な楽しさを味わうことができる。さらに、子供が活動を振り返ることで、より楽しさを実感したり、次の活動をより楽しく行うことができたりする。ただ遊んで終わりにするのではなく、振り返りを行い、充実させることにより体育的活動の楽しさの幅を広げていく。

3 研究主題を実現するための手立ての工夫

(1) 自己決定の幅を広げられる環境づくり

自己決定の幅を広げられる環境をつくるには、子供同士が心理的安全性をもつことが大切であると考えた。子供同士が心理的安全性をもち、誰と遊ぶか、どのような用具を使うか、どのようなルールで遊ぶかなど子供に委ねる部分を広げる。体育的活動のもつ自由度が高いという利点を最大限に生かし、子供の思いや願いに寄り添った活動環境を提供していくことを大切にしていく。



(2) 子供の活動がより高まる教師の関わり

教師は、運動遊びに取り組んでいる子供の姿を見取り、「一緒に遊ぶ」ことや、ファシリテーターとして、「称賛」「価値付け」「問いかけ」「見守り」「支援」等の活動状況に応じたかかわりを意識して行う。

(3) 教師のフィードバックや子供同士の活動中や活動後の振り返り

活動中や活動後に教師が子供にフィードバックをしたり、子供同士で振り返りをしたりすることで、運動遊びの楽しさを実感することができる。教師による問いかけや振り返りの視点、1人1台端末の活用など子供の実態に合った振り返りの行い方を検討し、振り返りを充実させていく。

4 船堀小学校の取り組み

① 活動名

第5学年 船スポタイム

② 船堀小学校体育的活動の目標

○子供が様々な運動遊びを経験し、運動遊びの楽しさを味わい、日常的に運動遊びに取り組む素地を養う。

○運動遊びを通して、子供の主体性や協調性を育む。

③ 活動場所と時間

朝の時間（15分間）を活用する。

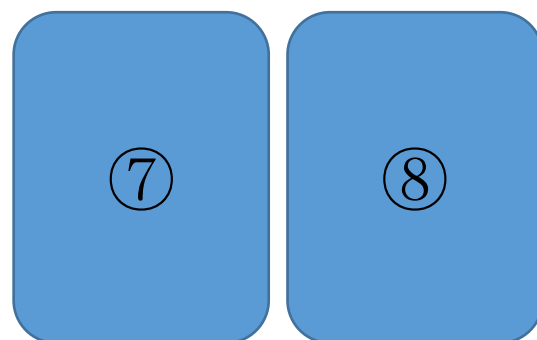
時間	火曜日	水曜日	金曜日
8:20～8:35	クラス遊び (5・6年)	クラス遊び (3・4年)	クラス遊び (1・2年)

※校庭と体育館（①～⑧）をローテーションで行う。

校庭



体育館



④ 活動の流れ

	活動内容
1 分	①準備 ②ルールの確認
1 3 分	③活動
1 分	④振り返り

5 学習活動案

(1) 単元の目標

知識及び運動	・運動遊びの行い方を理解し、運動遊びに取り組む力を育む。
思考力、判断力、表現力等	・行い方を工夫したり、自分に合った遊びを選んだりする力を育む。 ・自分の考えや工夫したことを友達に伝える力を育む。
学びに向かう力、人間性等	・いろいろな運動遊びや友達とのかかわりを通して運動の楽しさを実感し、日常的に運動に親しもうとする態度を育む。

(2) 単元の評価規準

知識・運動	・運動遊びを（楽しく）行うための、基本的な行い方を理解し運動遊びを行っている。
思考・判断・表現	・運動遊びをより楽しくするために、行い方や関わり方を工夫している。 ・自己の活動を振り返り、よりよい活動にしようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	・様々な運動遊びを自己選択し、すすんで取り組もうとしている。 ・きまりを守り、誰とでも仲よくかかわって遊ぼうとしている。 ・友達の考えを受け入れようとしている。 ・場の安全に気を付けている。

(3) 活動過程

段階	活動の仕方を知る・活動をやってみる・活動を楽しむ・活動の新たな楽しさを見出す
子供の活動	・たくさんの運動遊びの中から選択・決定する。 ・自分で選んだ運動遊びで遊ぶ。 ・遊びを振り返る。 ・次回はどうか考える。 【子供が選んで行う運動遊び】 ・ピーターパン ・ 9 マス鬼 ・氷鬼 ・ レンジでチン鬼 ・ドッジボール など
教師のかかわり	・運動遊び動画を提示する。 ・一緒に遊ぶ。 ・「活動のサイクル」が回せていない子供に支援する。 ・活動が飽和、停滞していたら状況に応じて問いかけ・支援する。

(4) 本時の活動

① 本時の目標

- ・ 様々な運動遊びを自己選択し、すすんで取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

② 本時の展開

活動内容・活動	○教師のかかわり ◎配慮を要する子供への支援	自ら学び続ける 子供の姿
1 自分達で決めた遊びで遊ぶ。	○場の安全が確保できているかを確認する。 ※用具の置き場所や場の広さ等を確認する。 ○子供の活動に応じたかかわりをする。 <○教師のかかわりの例> <・子供の様子の例> ○一緒に遊び楽しさを実感できるように支援する。 ○遊んでいる様子を見て必要に応じて支援する。 ・夢中に活動している。  ・遊び方を試行錯誤している。  ・活動が止まっている。  ○称賛 ○見守り ○問いかけ ○一緒に遊ぶ など	・ 子供自身が楽しいと思った運動遊びを選択している。 ・ 場や用具、遊び方などを考えて活動している。 ・ 仲間と相談をし、より楽しく活動する方法を考えている。
2 遊んだ友達と活動を振り返る。	○グループ・個・全体など活動状況に応じて振り返りの仕方を判断し、声をかける。 ◎自分の意見を伝えるのが苦手な子供を支援する。	

～これまでの研究資料～



体活 HP に
アクセスできます！



体育的活動領域部会は「魅力的な運動遊び」の開発もしています！！



みなさんも一緒に運動遊びに取り組みませんか？



東京都小学校体育研究会 体育的活動領域部会

@user-ry8jh9db9o ・ チャンネルを表示 >

🖼️ アカウントを切り替える

G Google アカウント



履歴

すべて表示



ぐるぐるリレー
東京都小学校体育研究...



ゴム跳び
東京都小学校体育



【実証授業のお知らせ】

日 程 令和7年11月14日（金）
学 年 5年生（4学級）
活動名 体育的活動「船スポタイム」
会 場 江戸川区立船堀小学校
指導者 加藤 広大 教諭



体育的活動領域部会は、体を動かすことが「大好き」「楽しい」「もっと楽しみたい」という子供の願いや思いに寄り添いながら活動をしています。

キャッチフレーズは・・・！！！！

「いつでも どこでも だれとでも」

ご興味ある方は、部長までご連絡ください。

体育的活動領域部会 部長
足立区立伊興小学校 大久保 真実

☎TEL 03-3899-1134